

## <企画セッション：研究報告>

(ショートタイトル) 東アジアの原子力安全枠組み構築

(ロングタイトル) 東アジアにおける原子力安全の協働取組に向けた多国間枠組み構築

オーガナイザー・座長：李秀澈（名城大学） E-mail: slee@meijo-u.ac.jp

### 1. 発表者および討論者一覧

発表者：

No	氏名	所属機関	メールアドレス	発表タイトル
1	吉田央	東京農工大学	HALAL@cc.tuat.ac.jp	欧州における使用済み核燃料管理に関する国際協力：WENRA「安全参照レベル報告書」を手がかりとして
2	柳恵琳	名古屋商科大学	hyelim_you@nucba.ac.jp	欧州の原子力安全における危機対応型ネットワーク・ガバナンス：WENRA と HERCA の協調枠組みに関する考察
3	大島堅一	龍谷大学	kenichi.oshima@gmail.com	福島第一原子力発電所 ALPS 処理水の海洋放出をめぐる日中韓の調整メカニズム分析
4	李秀澈	名城大学	slee@meijo-u.ac.jp	東アジアにおける原子力安全多国間枠組みの役割とガバナンスの展開

討論者：

No	氏名	所属機関	メールアドレス
1	Wang Jin	北京大学	wangjin_law@pku.edu.cn
2	鈴木達次郎	長崎大学	suzukitatsu@nagasaki-u.ac.jp

### 2. セッションの概要

本セッションは、原子力リスクに直面する東アジアで、信頼に基づく国際協働枠組みの構築を提案することを目的とする。欧州に比べ制度的連携が乏しい同地域では、今後 180 基の原発が集中する中で、事故時の越境的影響が懸念される。福島の ALPS 処理水問題にみられるように、信頼と協力の体制が急務である。本セッションでは欧州の経験と既存枠組みの検証を通じ、東アジアに適したリスク評価と協働基準の整備を模索する。